

平成 23 年度 VBL の研究業績

学会発表, 国際会議報告等

1. T. William, A. Shibayama, Kato. J, A. Hosoi, and Y. Takasaki, : Extraction of metals from electronic waste ash by autoclave oxidation using pyrite, The 9th Japan-Korea International Symposium on Resources Recycling and Materials Science (Osaka, Japan), *in press*
2. A. Shibayama, A. Hosoi, K. Hiruta, Y. Takasaki, T. William, T. Kato, and K. Sugawara: Volatilization behavior of valuable metals in electronic substrate waste by chlorination-volatilization, Conference of Metallurgists (COM2011, Montreal QC, Canada) *in press*
3. K. Haga, T. William, Y. Takasaki, and A. Shibayama : Investigation of Process for Removal of Arsenic in Copper Resources for Environmental Protection, International Symposium on East Asia Resources Recycling (EARTH2011, Kaohsiung, Taiwan), *Proceedings of EARTH2011*, p. 362-5 (2011).
4. A. Hosoi, T. William, Y. Takasaki, and A. Shibayama : Extraction and Collection of Metals Included in the Printed Circuit Board Wastes Which took Advantage of a Pressurization Oxidation Extraction Process, International Symposium on East Asia Resources Recycling (EARTH2011, Kaohsiung, Taiwan), *Proceedings of EARTH2011*, p. 333-5 (2011).
5. 芳賀 一寿, 大矢 和子, William Tongamp, 高崎 康志, 柴山 敦: 浮遊選鉱法を利用した高砒素含有銅鉱石からの砒素除去プロセスの検討, 第45回秋田県化学技術協会研究技術発表会ならびに特別講演会 p. 10-1 (2011)
6. 芳賀 一寿, 大矢 和子, William Tongamp, 高崎 康志, 柴山 敦: 浮遊選鉱法を用いた高不純物含有銅鉱石の分離条件の検討, 第45回秋田県化学技術協会研究技術発表会ならびに特別講演会 p. 12-3 (2011)
7. 高崎 康志, 南 宏幸, 芳賀 一寿, 細井 明, 柴山 敦, 愛知 太郎, 佐藤 理恵: 亜鉛電解採取におけるPb合金アノード上の β -PbO₂形成に関する基礎的研究, 第45回秋田県化学技術協会研究技術発表会ならびに特別講演会 p. 14-5 (2011)
8. 芳賀 一寿, 大矢 和子, William Tongamp, 高崎 康志, 柴山 敦: 浮遊選鉱法における砒四面銅鉱と黄銅鉱の分離条件の検討, 資源・素材学会 東北支部 平成23年度春季大会 講演要旨集 p. 45 (2011)
9. 渡辺 勝央, 蛭田 賢一, 伊藤 康孝, 高崎 康志, 細井 明, 柴山 敦: 塩化揮発法による廃電子基板中の有価金属の揮発挙動, 資源・素材学会 東北支部 平成23年度春季大会 講演要旨集 p. 67 (2011)
10. 小武 希, 加藤 準二, 張 立澤, 細井 明, 高崎 康志, 柴山 敦: 廃電子基板等からの金属回収を目的とした高温高圧酸浸出プロセスの検討, 資源・素材学会 東北支部 平成23年度春季大会 講演要旨集 p. 77 (2011)
11. 芳賀 一寿, William Tongamp, 高崎 康志, 柴山 敦: 浮遊選鉱法による高砒素含有銅鉱石からの Enargite 除去プロセスの検討, 資源・素材学会 2011 秋季大会 (堺) 講演要旨集 NO. 2 p. 145-146 (2011)
12. 柴山 敦, トンガム ウィリアム, 芳賀 一寿, 高崎 康志: Enargite などヒ素含有銅鉱石のアルカリ浸出とNa₃AsS₄の析出分離, 資源・素材学会 2011 秋季大会 (堺) 講演要旨集 NO. 2 p. 151-152 (2011)
13. 細井 明, 柴山 敦, 高崎 康志, 加藤 準二: 廃基板等に含まれるメタル類の加圧酸化浸出における浸出挙動と浸出液中のメタル類の分離と回収について, 資源・素材学会 2011 秋季大会 (堺) 講演要旨集 NO. 2 p.

215-216 (2011)

14. 小武 希, 細井 明, 高崎 康志, 柴山 敦: 廃電子基板等からの金属回収を目的とした高温高圧酸浸出プロセスの検討, 資源・素材学会 2011 秋季大会 (堺) 大会プログラム p. 46 (2011)
15. 渡辺 勝央, 蛭田 賢一, 伊藤 康孝, 高崎 康志, 細井 明, 柴山 敦: 塩化揮発法による廃電子基板からの有価金属の回収と揮発挙動の調査, 資源・素材学会 2011 秋季大会 (堺) 大会プログラム p. 47 (2011)
16. 鎌田 玲佳, 高崎 康志, 芳賀 一寿, 細井 明, 柴山 敦: 高不純物含有銅アノードを用いた電解精製に関する研究, 資源・素材学会 2011 秋季大会 (堺) 大会プログラム p. 65 (2011)
17. 芳賀 一寿, William Tongamp, 高崎 康志, 柴山 敦: 浮遊選鉱法における鉱不純物銅鉱石処理プロセスの検討, 資源・素材学会 東北支部 平成 23 年度秋季大会 研究発表講演会講演要旨集 p. 14 (2011)
18. 渡辺 勝央, 高崎 康志, 細井 明, 柴山 敦: 塩化揮発法を用いた廃電子基板中の有価金属の揮発挙動と回収条件の検討, 資源・素材学会 東北支部 平成 23 年度秋季大会 研究発表講演会講演要旨集 p. 15 (2011)
19. 金子 卓未, 加賀谷 史, 林 滋生: ゲルキャスティング法により作製したセラミックスの焼成収縮等方性, 日本セラミックス協会東北北海道支部研究発表会, 2P18 2012. 10. 27-28 日本大学工学部 (郡山)
20. 深川 駿, 加賀谷 史, 林 滋生: ジオポリマー反応によるゼオライト堆積膜の固定化とイオン交換特性, 日本セラミックス協会東北北海道支部研究発表会, 1P09 2012. 10. 27-28 日本大学工学部 (郡山)
21. I. Tomeno, J. A. Fernandez-Baca, K. Marty, Y. Tsunoda, and K. Oka :Lattice dynamics of PbTiO₃, 5th European Conference on Neutron Scattering, Prague, Czech 2011 年 07 月
22. I. Tomeno, J. A. Fernandez-Baca, K. Marty, Y. Tsunoda, and K. Oka:Lattice dynamics of cubic PbTiO₃, APS March Meeting, Boston 2012 年 02 月
23. 留野泉 中性子で見るフォノン-強誘電体と強弾性体 北東北国立 3 大学連携推進研究プロジェクト研究会 弘前大 2011 年 06 月
24. 留野泉、J. A. Fernandez-Baca, K. J. Marty、角田頼彦、岡邦彦 PbTiO₃ の格子ダイナミクス 日本物理学会 2011 年秋季大会 富山大 2011 年 09 月
25. 留野泉 ペロブスカイト PbTiO₃ の格子ダイナミクス 北東北国立 3 大学連携推進研究プロジェクト研究会 岩手大 2011 年 11 月
26. T. Hasegawa, T. Tomioka, Y. Kondo, H. Yamane and S. Ishio, "Fabrication of [001] L1₀-FePtRh ferro-antiferromagnetic pattern by flat-patterning method", The 56th Magnetism and Magnetic Materials Conference (MMM2011), Scottsdale, Arizona, USA, October 30- November 3, 2011.
27. Y. Kobayashi and S. Ishio, "Magnetization Reversal Process in Antiferromagnetically Coupled [Co/Pd]_m/Ru/[Co/Pd]_n Dot Patterns", The Magnetism and Optics Research International Symposium 2011 (MORIS2011), Nijmegen, The Netherlands, June 21-24, 2011.
28. 長谷川崇, 石尾俊二, "Fe_{1-x-y}Mn_xPt_y 薄膜の結晶構造と磁気相図", 第 21 回日本素材物性学会, 秋田, 2011 年 6 月 28 日.
29. 石尾俊二, 高橋信吾, 長谷川崇, 佐々木博美, 荒川明, 有明順, 山根治起, 近藤祐治, "[001] 高配向 L1₀FePt ドットパターンの作製とその磁気特性", マグネティクス研究会, 高知, 2011 年 8 月 3 日~4 日.
30. 富岡達也, 長谷川崇, 高橋信吾, 近藤祐治, 石尾俊二, "原子拡散を利用したフラット・パターンニング法による

[001] L10-FePtRh ドット間交換結合パターンの作製と磁化過程”, 第 35 回日本磁気学会学術講演会, 新潟, 2011 年 9 月 27 日～30 日.

31. Z. Yan, 高橋信吾, 近藤祐治, 有明順, 石尾俊二, “垂直磁気異方性を有する FePt 微小ドット配列のマイクロマグネティック解析”, 第 35 回日本磁気学会学術講演会, 新潟, 2011 年 9 月 27 日～30 日.
32. 川戸宏紀, 長谷川崇, 長町信治, 石尾俊二, “Fe イオン照射を利用したフラット・パターンニング法による L10-FePtRh 強磁性-常磁性パターンの作製”, 第 35 回日本磁気学会学術講演会, 新潟, 2011 年 9 月 27 日～30 日.
33. 高橋信吾, 近藤祐治, 長谷川崇, 山根治起, 鈴木基寛, 河村直己, 水牧仁一郎, 有明順, 石尾俊二, “微細加工/熱処理プロセスによる L10-FePt ドットアレイ形成と磁気特性”, 第 35 回日本磁気学会学術講演会, 新潟, 2011 年 9 月 27 日～30 日.
34. 長谷川崇, 富岡達也, 近藤祐治, 山根治起, 石尾俊二, “原子拡散を利用したフラット・パターンニング法による [001] L10-FePtRh 強磁性-反強磁性パターンの作製”, 第 35 回日本磁気学会学術講演会, 新潟, 2011 年 9 月 27 日～30 日.
35. 中村勇希, 近藤祐治, 山川清志, 有明順, 石尾俊二, “反射型結像鏡を用いた顕微磁気光学カー効果計測”, 第 59 回応用物理学関係連合講演会, 東京, 2012 年 3 月 15 日～18 日.
36. 長谷川崇, 富岡達也, 川戸宏紀, 高橋信吾, 近藤祐治, 山根治起, 荒川明, 石尾俊二, “ナノスケール磁性制御による表面平滑ビットパターンの作製”, 第 59 回応用物理学関係連合講演会, 東京, 2012 年 3 月 15 日～18 日.
37. 高橋信吾, 近藤祐治, 小林真奈, 長谷川崇, 山根治起, 有明順, 石尾俊二, “微細加工/RTA プロセスによる高保磁力 L10-FePt ナノドットアレイの作製”, 日本金属学会 2012 年春期講演 (第 150 回) 大会, 横浜, 3 月 28 日～30 日.
38. Yoshiki Kayano, Kota Mimura and Hiroshi Inoue, “The Correlation between Imbalance Component and EM Radiation from a Differential-Paired Line with Different Length”, in Proc. International Conference on Electronics Packaging, pp.103-108, Nara, Japan, April, 2011.
39. Yoshiki Kayano and Hiroshi Inoue, “Prediction of EM Radiation at GHz Frequency from a PCB Driven by a Connected Feed Cable”, in Proc. 2011 Asia-Pacific International Symposium on EMC, S-Tu2-5, Jeju Island, Korea, May 2011.
40. Hiroshi Inoue, Yoshiki Kayano and Kazuaki Miyanaga, “EMC Problem Caused by Arc Discharge at Slowly Separating Silver-Based Contacts”, in Proc. 2011 Asia-Pacific International Symposium on EMC, S-We5-5, Jeju Island, Korea, May 2011.
41. Yoshiki Kayano and Hiroshi Inoue, “Electromagnetic Radiation Resulting from Strip Line Structure Driven by a Feed Cable”, in Proc. IEEE International Symposium on EMC, Long Beach, CA, USA, pp.161-166, Aug. 2011.
42. Kazuaki Miyanaga, Yoshiki Kayano and Hiroshi Inoue, “Arc Discharge affected by Pressure in Relay Housing”, 電子情報通信学会技術研究報告, 機構デバイス研究会(国際セッション), EMD2011-104, pp.201-205, Akita, Japan, Nov. 2011.
43. Kazuaki Miyanaga, Yoshiki Kayano and Hiroshi Inoue, “Voltage Fluctuation of Arc Discharge affected by

- Pressure in Relay Housing”, 電子情報通信学会技術研究報告, 機構デバイス研究会(国際セッション), EMD2011-105, pp.207-211, Akita, Japan, Nov. 2011.
44. 小林 吾生, 萱野 良樹, 井上 浩, “遮断周波数電圧可変型低域通過フィルタの開発研究”, 電子情報通信学会技術研究報告, 機構デバイス研究会, EMD2011-138, Mar. 2012.
 45. 保原 秀康, 萱野 良樹, 井上 浩, “高周波・広帯域 PLL を目的とした位相雑音特性に関する一検討”, 計測自動制御学会東北支部第 266 回研究集会, 266-2, Jul. 2011.
 46. 宮永 和明, 萱野 良樹, 井上 浩, 高木 相, “低速開離時の Ag および AgSnO₂ 異種接点のアーカ放電波形と消去距離”, 平成 23 年度電気関係学会東北支部連合大会講演論文集, 1H01, p.251, Aug. 2011.
 47. 小林 吾生, 萱野 良樹, 井上 浩, “電圧制御低域通過フィルタの特性に関する一検討”, 平成 23 年度電気関係学会東北支部連合大会講演論文集, 2H06, p.270, Aug. 2011.
 48. Yoshiki Kayano and Hiroshi Inoue, “A Study on Imbalance Component and EM Radiation from an Asymmetrical Differential-Paired Line driven by LVDS (Part II)”, 2011 年電子情報通信学会ソサイエティ大会講演論文集, B-4-28, p.341, Sep. 2011.
 49. 宮永 和明, 萱野 良樹, 井上 浩, 高木 相, “銀とパラジウムの異種材料接点对の低速開離時アーカに関する検討”, 2011 年電子情報通信学会ソサイエティ大会講演論文集, C-5-7, p.7, Sep. 2011.
 50. Yoshiki Kayano and Hiroshi Inoue, “Identifying Frequency Response of EM Radiation from an Asymmetrical Differential-Paired Line based on Physics-Based Equivalent Circuit Model”, 電子情報通信学会技術研究報告, 環境電磁工学研究会, EMCJ2011-87, Oct. 2011.
 51. 楊 曉帆, 萱野 良樹, 井上 浩, “負の群遅延特性の広帯域化のための多段 F-SIR 構造の検討”, IEEE EMC Society Sendai Chapter・東北大学 EMC 仙台ゼミナール共催学生発表会, Dec. 2011.
 52. 宮永 和明, 萱野 良樹, 井上 浩, “ホルダ温度が低速開離接点時のブリッジとアーカに与える影響”, 電子情報通信学会技術研究報告, 環境電磁工学研究会, Mar. 2012 (発表予定)
 53. 保原 秀康, 萱野 良樹, 井上 浩, “低位相雑音 PLL のための位相比較器の検出感度に関する一検討”, 電子情報通信学会技術研究報告, 環境電磁工学研究会, Mar. 2012 (発表予定)
 54. Yoshiki Kayano Yasunori Tsuda and Hiroshi Inoue, “A Study on Imbalance Component and EM Radiation from Asymmetrical Differential-Paired Lines with Equi-Distance Routing”, 2012 年電子情報通信学会総合大会講演論文集, Mar. 2012 (発表予定)
 55. 宮永 和明, 萱野 良樹, 川島 琢也, 井上 浩, “外部磁界印加時の低速開離アーカ柱の観測”, 2012 年電子情報通信学会総合大会講演論文集, Mar. 2012 (発表予定)
 56. 伊藤 亮一, 江川 元太, 李 正華, 吉村 哲, 斉藤 準:「近接場・磁気力顕微鏡による試料表面近傍での直流磁場観察」, 秋季 第 72 回応用物理学会学術講演会, 山形大学, 2011 年 8 月 29 日~9 月 1 日
 57. 芦 佳, 江川 元太, 吉村 哲, 浅野 秀文, 斉藤 準:「Development of Near-field Electric Force Microscopy for DC Electric Field Measurement near Sample Surface」, 秋季 第 72 回応用物理学会学術講演会, 山形大学, 2011 年 8 月 29 日~9 月 1 日.
 58. 畠山 広大, 江川 元太, 吉村 哲, 斉藤 準:「パルス磁場を用いた磁気力顕微鏡探針の保磁力測定」, 第 35 回日本磁気学会学術講演会, 新潟コンベンションセンター (朱鷺メッセ), 2011 年 9 月 27 日~30 日

59. 伊藤 亮一, 李 正華, 江川 元太, 吉村 哲, 齊藤 準: 「近接場磁気力顕微鏡による高感度高分解能直流磁場イメージング」, 第 35 回日本磁気学会学術講演会, 新潟コンベンションセンター (朱鷺メッセ), 2011 年 9 月 27 日～30 日.
60. 江川 元太, 畠山 広大, 吉村 哲, 齊藤 準: 「円錐形状 FePt 探針を用いた磁気記録ヘッドの高分解能・交流磁場観察」, 第 35 回日本磁気学会学術講演会, 新潟コンベンションセンター (朱鷺メッセ), 2011 年 9 月 27 日～30 日.
61. 安居 慎也, 江川 元太, 吉村 哲, 伊藤 亮, 川村 博, 齊藤 準: 「超高真空スパッタリング装置を用いて作製した極薄・高保磁力 FePt 探針による磁気記録媒体の高分解能・磁気力顕微鏡観察」, 第 35 回日本磁気学会学術講演会, 新潟コンベンションセンター (朱鷺メッセ), 2011 年 9 月 27 日～30 日.
62. 伊藤 亮一, 李 正華, 江川 元太, 吉村 哲, 齊藤 準: 「近接場・磁気力顕微鏡によるベクトル磁場イメージング」, 第 59 回応用物理学関係連合講演会, 早稲田大学, 2011 年 3 月 15 日～18 日.
63. 齊藤 準, 「磁気力顕微鏡の開発とその応用～垂直・面内磁場同時計測 (希土類磁石応用に向けた垂直磁化試料および面内磁化試料の観察)」, 第 2 回磁石材料とナノ計測研究会, 2011 年 10 月 13 日.
64. 齊藤 準, 「交番磁気力顕微鏡の開発と磁場方向検出への応用」, 東北大学電気通信研究所共同プロジェクト第 14 回金属/酸化物スピントロニクスセミナー, 東北大学, 2011 年 12 月 6 日.
65. H. Saito, R. Ito, G. Egawa, Z. Li, and S. Yoshimura: “A new magnetic force microscopy for static magnetic field imaging near a sample surface by using a frequency modulation in cantilever oscillation with an alternating magnetic field driven soft magnetic tip(Near-field MFM)”, IEEE International Magnetism Conference (INTERMAG2011), Taipei, Taiwan, April 25 - 29, 2011.
66. S. Yoshimura, S. Omiya, G. Egawa, and H. Saito: “Fabrication of (001) oriented TMR film with highly ordered L10-Fe(Pd,Pt) alloy films by using a very thin Fe underlayer”, IEEE International Magnetism Conference (INTERMAG2011), Taipei, Taiwan, April 25 - 29, 2011.
67. H. Saito, Z. Li, R. Ito, G. Egawa, S. Yoshimura: “Vector analysis of static magnetic field by adjusting measuring axis for Near-field magnetic force microscopy”, 56th Magnetism and Magnetic Materials (MMM) Conference, Scottsdale, Arizona, USA, October 30 - November 3, 2011.
68. The thermal expansion studies of novel ferromagnetic shape memory alloys: Ni₅₀X Mn_{12.5} Fe_{12.5} Ga₂₅-X and Ni₂Mn_{0.75}Cu_{0.25}Ga in magnetic fields. 左近拓男, 佐々木謙太, 野尻浩之, 鹿又武 International Conference on Martensitic transitions 2011 (ICOMAT 2011) 2011 年 9 月 豊中市千里阪急ホテル
69. 日本磁気科学会 無機金属分科会研究会- パルス磁場研究の新たな展開と磁気科学への応用- 「パルス磁場を用いた新規磁性形状記憶合金の物性研究」 左近拓男, 野尻浩之, 鹿又武 2011 年 9 月 東京大学本郷キャンパス
70. 日本金属学会 2011 年秋期大会 「強磁場中の Ni₂MnGa_{0.88}Cu_{0.12} の磁性と物性の研究」 左近拓男, 長塩仁志, 佐々木謙太, 野尻浩之, 鹿又武 2011 年 11 月 沖縄県宜野湾市沖縄カルチャーセンター
71. 北東北国立 3 大学連携推進研究プロジェクト- 省エネルギーを目指したエネルギー変換材料・超伝導材料の探索- 「新規ホイスラー合金のマルテンサイト変態と磁性の相関」 左近 拓男 2011 年 11 月 岩手大学
72. Sato, Y. (2011): Thin Film Growths of Compound Semiconductors on Heteroepitaxial Underlayers and Their Properties (Invited), International Conference on Processing and Manufacturing of Advanced Materials

(Quebec City, Canada), p.209.

73. Ito, K., Funaki, K., Takemoto, H., Iwaki, M. and Sato, Y. (2011): Investigation of In₂O₃ Underlayer for Nitride Semiconductor Thin Film Growth on Sapphire Substrate, 21st International Photovoltaic Science and Engineering Conference (Fukuoka, Japan), 2D-4P-15.
74. Ito, K., Harada, K., Funaki, K., Takemoto, H., Iwaki, M. and Sato, Y. (2011): An Improvement of Crystal Quality of Group III-Nitride Thin Films on Sapphire by Using In₂O₃ Under Layer, 3rd International Symposium on Advanced Plasma Science and its Applications for Nitrides and Nanomaterials (Nagoya, Japan), p.6.
75. 加藤貴宏, 菅原勝康: “塩化揮発による使用済み研磨剤からのセリウムの分離回収”, 化学工学会第 77 年会 (東京), p.645, 2012
76. 加藤貴宏, 村上賢治, 菅原勝康: “電子基板中貴金属及びレアメタルの塩化揮発に及ぼす前処理の影響”, 化学工学会札幌大会 (札幌), A120, 2011
77. 加藤貴宏, 梅田雄大, 村上賢治, 菅原勝康: “鉄鋼ダストの炭素還元による亜鉛の揮発分離”, 第 48 回石炭科学会議 (新潟), p. 8-9, 2011
78. 佐藤仁彦, 村上賢治, 菅原勝康, 坪内直人, 大塚康夫: “炭酸カルシウムを触媒原料とする低炭化度炭の水蒸気ガス化”, 第 48 回石炭科学会議 (新潟), p. 28-29, 2011
79. 村上賢治, 佐藤仁彦, 菅原勝康, 大塚康夫: “鉄系触媒を用いるチャーのガス化とタールモデル化合物の分解”, 第 48 回石炭科学会議 (新潟), p. 94-95, 2011
80. 村上賢治, 渡邊真一, 加藤貴宏, 菅原勝康: “感温性高分子被覆メソポーラスシリカのイオン交換特性に及ぼす架橋剤添加の影響”, 日本化学会東北大会 (仙台), 2011
81. 村上賢治, 渡邊真一, 加藤貴宏, 菅原勝康: “感温性高分子/メソポーラスシリカ複合体のイオン交換特性に及ぼす温度の影響”, 化学工学会秋季大会 (名古屋), 2011
82. 村上賢治, 國木翔太, 加藤貴宏, 菅原勝康, 川口尊三: “種々の炭材の燃焼速度解析”, 鉄鋼協会秋季大会 (大阪), 2011
83. Kato, T., Murakami, K., and Sugawara, K. : Dynamic behavior of mercury during coal pyrolysis, 4th International Conference on Sustainable Energy and Environment (SEE2011, Bangkok, Thai), D-306, 2012
84. Murakami, K., Kato, T., and Sugawara, K. : Effect of Catalysts on Gas Evolution and Product Distribution in Steam Gasification of Woody Biomass, (SEE2011, Bangkok, Thai), A-303, 2012
85. Kato, T., Murakami, K., and Sugawara, K. . : Release behavior of fluorine during heat treatment of steel dusts, 14th Asia Pacific Confederation of Chemical Engineering Congress (APCChE 2012, Singapore), p.834-835, 2012
86. Kato, T., Sato, H., Murakami, K., and Sugawara, K. . : Effect of Preparation Condition on Photoluminescence Characteristics of Zn₂SiO₄ : Mn²⁺, Asia Pacific Confederation of Chemical Engineering Congress (APCChE 2012, Singapore), p. 111-112, 2012
87. Kato, T., Murakami, K., and Sugawara, K. . : Rare metal recovery from ground powder of optical glass by chlorination, 14th Asia Pacific Confederation of Chemical Engineering Congress (APCChE 2012, Singapore), p.830-831, 2012

88. Sugawara, K., Kato, T., and Hatakeyama, T.: Carbon reduction of lead sulfate, 18th Regional Symposium on Chemical Engineering (RSCE2011, Ho Chi Minh city, Vietnam), p.66, 2011
89. Murakami, K., Sato, M., Kato, T., and Sugawara, K. : Effect of iron and calcium catalysts on pyrolysis and gasification of wood, International Conference on Coal Science & Technology (ICCS&T 2011, Oviedo, Spain), B66, 2011
90. Kato, T., Kimpara, T., Mochizuki, Y., Murakami, K., and Sugawara, K. : Recycling and cleaning of FGD gypsum by carbon reduction, 6th Asia Pacific Chemical Reaction Engineering Symposium (APCRE' 11, Beijing, China), A-38, 2011
91. Kato, T., Niregi, Y., Murakami, K., and Sugawara, K. : Recovery of precious and rare metals from printed circuit boards by chlorination, 6th Asia Pacific Chemical Reaction Engineering Symposium (APCRE' 11, Beijing, China), A-25, 2011
92. Kato, T., Murakami, K., and Sugawara, K. : Release behavior of hazardous elements during coal pyrolysis, 11th Japan-China Symposium on Coal and C1 chemistry (Yinchuan, China), P-17, 2011
93. Murakami, K., Sukegawa, K., Kato, T., and Sugawara, K. : Influence of calcium catalyst on product distribution during pyrolysis of wood, 11th Japan-China Symposium on Coal and C1 chemistry (Yinchuan, China), P-57, 2011
94. 鈴木真希, 伊藤邦敏, 松本和也, 寺境光俊「AB2型分岐オリゴマーの自己重縮合による長鎖分岐ポリ乳酸の合成と特性」第60回高分子年次大会(大阪)2011年5月
95. 内田大介, 松本和也, 寺境光俊「長鎖分岐ポリエーテルスルホンの合成と物性評価」第60回高分子年次大会(大阪)2011年5月
96. 松本和也, 寺境光俊, 中嶋直敏「物理的相互作用を利用したポリエーテルスルホン・カーボンナノチューブ複合体の作製」第21回日本素材物性学会年会(秋田)2011年6月
97. 鈴木真希, 松本和也, 寺境光俊「分岐点間距離を制御した分岐ポリ乳酸の合成と特性」第60回高分子討論会(岡山)2011年9月
98. 春田悠貴, 内田大介, 高橋佑季, 松本和也, 寺境光俊「ハイパーブランチポリエーテルスルホンの合成と特性解析」第60回高分子討論会(岡山)2011年9月
99. 竹山佑樹, 寺境光俊, 石橋和幸「ポリ乳酸共重合体を用いた癒着防止膜の開発」第60回高分子討論会(岡山)2011年9月
100. 松本和也, 石井誠一, 寺境光俊, 中嶋直敏「ポリエーテルスルホンによる多層カーボンナノチューブの可溶化と複合体の作製」平成23年度化学系学協会東北大会(仙台)2011年9月
101. 竹山佑樹, 寺境光俊, 石橋和幸「ポリ乳酸共重合体を用いた癒着防止膜の開発」2011年成形加工シンポジウム(秋田)2011年10月
102. 松本和也, 安藤木美子, 寺境光俊「かご型シルセスキオキサンをコアとした末端アミノ基デンドリマーの合成」2011年高分子学会東北支部研究発表会(米沢)2011年11月
103. “K2NbO3FとTEOSを用いたメソ多孔体の合成における温度の影響についての評価”, 新井裕輝, 小笠原正剛, 小原晃一, 加藤純雄, 中田真一, 第21回日本素材物性学会年会, 講演要旨集, B-1, pp.39-40, 秋田, 2011年6月

月 28 日.

104. “アルカリ土類金属含有アパタイト型リン酸塩担持 Pd 触媒の調製と窒素酸化物浄化特性”, 小野富雅, 加藤純雄, 小笠原正剛, 中田真一, 若林誉, 中原祐之輔, 第 21 回日本素材物性学会年会, 講演要旨集, B-2, pp.41-2, 秋田, 2011 年 6 月 28 日.
105. “固体 NMR による触媒の解析 (入門編)”, 中田真一, 第 32 回触媒学会若手会夏の研修会, 浜松, 2011 年 8 月 10 日.
106. “石油をとりまく話題”, 中田真一, 秋田県自然エネルギー開発協会特別講演会, 秋田, 2011 年 9 月 3 日.
107. “NO_x 浄化用アパタイト型リン酸塩担持貴金属触媒の調製”, 加藤純雄, 小野富雅, 高橋陽平, 小笠原正剛, 中田真一, 若林誉, 中原祐之輔, 日本セラミックス第 24 回秋季シンポジウム, 2H26, 札幌, 2011 年 9 月 7~9 日.
108. “デラフォサイト型 CuCr_{1-x}Fe_xO₂ の合成と酸素吸蔵特性”, 川島龍之介, 加藤純雄, 小笠原正剛, 中田真一, 若林誉, 中原祐之輔, 平成 23 年度化学系学協会東北大会, 講演予稿集, 2P143, p.195, 仙台, 2011 年 9 月 17 日~18 日.
109. “アパタイト型リン酸塩担持 Pt 触媒の NO 還元特性に対する担体組成の影響”, 高橋陽平, 小野富雅, 加藤純雄, 小笠原正剛, 中田真一, 若林誉, 中原祐之輔, 平成 23 年度化学系学協会東北大会, 講演予稿集, 2P146, p.196, 仙台, 2011 年 9 月 17 日~18 日.
110. “メソ構造を有する Si-Nb 系有機-無機複合体の固体塩基特性”, 菅原健大, 小笠原正剛, 佐々木一樹, 加藤純雄, 中田真一, 平成 23 年度化学系学協会東北大会, 講演予稿集, 2P155, p.199, 仙台, 2011 年 9 月 17 日~18 日.
111. “層状ペロブスカイト型化合物 K₂Nb_{0.3}F および TEOS を出発原料としたメソ多孔体の合成”, 小笠原正剛, 新井裕輝, 小原晃一, 加藤純雄, 中田真一, 第 109 回触媒討論会, 3H12, 北見, 2011 年 9 月 20 日~22 日.
112. “アパタイト型アルカリ土類リン酸塩担持 Pt 触媒の調製と NO 還元特性”, 加藤純雄, 高橋陽平, 小野富雅, 小笠原正剛, 中田真一, 中原祐之輔, 若林誉, 石油学会第 41 回石油・石油化学討論会, 講演要旨, 1F02, p.278, 山口, 2011 年 11 月 10~11 日.
113. “Nb 含有コロイド溶液を用いた Si-Nb 系メソ多孔体の合成”, 小笠原正剛, 小田知美, 堀内宏佑, 加藤純雄, 中田真一, 第 27 回ゼオライト研究発表会, B26, 吹田, 2011 年 12 月 1~2 日.
114. “デラフォサイト型 CuCr_{1-x}Fe_xO₂ の酸素吸蔵挙動”, 加藤純雄, 鈴木聖, 小笠原正剛, 中田真一, 若林誉, 中原祐之輔, 日本セラミックス協会 2012 年年会, 2C05, 京都, 2012 年 3 月 16~18 日.
115. “アルカリ金属含有アパタイト型ケイ酸塩担持 Pt 触媒の調製と NO 還元および C₃H₆ 酸化特性”, 加藤純雄, 小野富雅, 足立夕時, 小笠原正剛, 中田真一, 若林誉, 中原祐之輔, 第 109 回触媒討論会, 1P33, 東京, 2012 年 3 月 29, 30 日.
116. “層状ペロブスカイト型化合物 HLaNb₂₀₇ を用いた有機無機複合体の合成およびその酸塩基特性”, 齋藤和也, 小笠原正剛, 菅原健大, 加藤純雄, 中田真一, 第 109 回触媒討論会, 2P32, 東京, 2012 年 3 月 29, 30 日.
117. “アミノ化米ぬか活性炭の調製とクネバナーゲル縮合”, 細田哲也, 佐藤寛次, 野村正幸, 中田真一, 第 109 回触媒討論会, 2P33, 東京, 2012 年 3 月 29, 30 日.
118. “NO reduction property of hydroxyapatite supported precious metal catalysts”, Ono, A., Takahashi, Y., Kato, S., Ogasawara, M., Nakata, S., Wakabayashi, T., Nakahara, Y., The 13th Korea- Japan Symposium on

- Catalysis, PP-084, Abst. p. 182, Jeju, Korea, May. 23-25, 2011.
119. “Basic Catalytic Properties of Surfactant-containing Nb-mesostructured Materials Derived from Layered Perovskite K₂NbO₃F” , Ogasawara, M., Sugawara, T., Sasaki, K., Kato, S., Nakata, S., The 13th Korea-Japan Symposium on Catalysis, PP-154, Abst. p. 252, Jeju, Korea, May. 23-25, 2011.
 120. “Preparation and NO reduction property of apatite-type La₉Asi₆O₂₆ (A=Li, Na, K) supported Pt catalysts” , Kato, S., Ono, A., Narumi, T., Ogasawara, M., Nakata, S., Wakabayashi, T., Nakahara, Y., The 13th Korea-Japan Symposium on Catalysis, PP-165, Abst. p. 263, Jeju, Korea, May. 23-25, 2011.
 121. Fumio Hamada, Manabu Yamada, Yoshihiko Kondo, “Supramolecular Assembly Based on Thiocalixarenes” , 6th Taiwan-Japan and 1st International Symposium on Chemical-Environmental-Biomedical Technology (isCEBT) (Hsinchu, Taiwan, 9.7-9.7, 2011) p-11.
 122. Fumio Hamada, “Supramolecular Architecture Formation Stimulated by Intermolecular Interaction Involving Aromatic Rings Based on Thiocalixarenes System” , BIT’ s 2nd Annual World Congress of NanoMedicine-2011, (Shenzen, China, 11.3-11.5, 2011) p-74.
 123. 宮田知隼, 川崎拓美, 佐藤菜花, 福本倫久, 星野明紀, 原 基 : 熔融塩を媒体とした Ir 膜の電析挙動, 第 21 回日本素材物性学会年会, 講演要旨集, B-7, p. 51-52.
 124. 藤井永人, 佐藤菜花, 福本倫久, 原 基 : Y 含有深さを変えた Ni アルミナド表面層の作製と耐サイクル酸化性, 第 21 回日本素材物性学会年会, 講演要旨集, B-8, p. 53-54.
 125. 阿部拓平, 佐藤菜花, 福本倫久, 原 基 : TiAl 上への Ni アルミナド/Ni および TiAl₃ 2 層コーティングと耐サイクル酸化性, 第 21 回日本素材物性学会年会, 講演要旨集, B-9, p. 55-56.
 126. 福本倫久, 岡本竜太, 原 基 : 熔融 Na₂SO₄ の電気分解による W-Co 複酸化物の溶解と金属 Co の回収, 日本金属学会 2011 年秋期 (第 149 回) 大会, 講演概要集, p. 147.
 127. 富谷和正, 原 基, 佐藤菜花, 福本倫久 : Y, Ce を含む Ni アルミナド膜の作製とその耐サイクル酸化性, 日本金属学会 2011 年秋期 (第 149 回) 大会, 講演概要集, p. 160.
 128. 阿部拓平, 佐藤菜花, 福本倫久, 原 基 : TiAl 上への Ni アルミナド膜のコーティングと耐サイクル酸化性, 第 10 回日本金属学会東北支部研究発表大会, 講演予稿集, p. 9.
 129. 金田年矢, 佐藤菜花, 福本倫久, 原 基 : Fe-Cr 合金のシリコナイジングと熔融塩埋没下での耐高温腐食性, 第 10 回日本金属学会東北支部研究発表大会, 講演予稿集, p. 19.
 130. 和田 歩, 柴田綾乃, 佐藤菜花, 福本倫久, 原 基 : Fe-Zn-Al 化合物/Fe-Zn 化合物 2 層コーティングの作製と耐食性, 第 10 回日本金属学会東北支部研究発表大会, 講演予稿集, p. 20
 131. 藤井永人, 佐藤菜花, 福本倫久, 原 基 : Y の含有深さを変えた Ni アルミナド表面層の作製と耐サイクル酸化性, 第 10 回日本金属学会東北支部研究発表大会, 講演予稿集, p. 21.
 132. 宮田知隼, 川崎拓美, 佐藤菜花, 福本倫久, 原 基 : 熔融塩を媒体とした Ir 膜の電析挙動, 第 10 回日本金属学会東北支部研究発表大会, 講演予稿集, p. 22.
 133. チオール基を有する 5 残基ペプチドで修飾した金ナノ粒子の細胞内導入と共焦点顕微観察 ○日登 圭宣・藤原一彦・伊藤 英晃・小川 信明 (日本分析化学会第 60 年会 名古屋大学)
 134. 東アジア広域共同調査による降水試料の化学分析を通して見た韓国・日本への大気汚染物質の越境汚染の現状と

- 朝鮮半島の地形が与える影響)) ○大林 徹・尾関 徹・小川 信明・菊地 良栄・藤原 一彦・中田 隆二・藤永 薫・Kim Dong-Uk・Lim Hee-Jun・Kim Sung-Hoon・Park Ji-Ho (日本分析化学会第 60 年会 名古屋大学)
135. 韓国と日本における大気浮遊成分の飛来過程における化学成分の変質に関する東アジア広域共同調査結果)) ○坂上 知里・大林 徹・尾関 徹・小川 信明・菊地 良栄・藤原 一彦・中田 隆二・Kim Dong-Uk (日本分析化学会第 60 年会 名古屋大学)
136. プラズモンカップリングと単一ナノ粒子計測を組合せたタンパク質相互作用観測 ○兒玉 高遠・藤原 一彦・伊藤 英晃・小川 信明 (日本分析化学会第 60 年会 名古屋大学)
137. Measurement of pH of Low Ionic Strength Solutions Using a Combination-type Glass pH Electrode Equipped with Ionic Liquid Salt Bridge Nobuaki Ogawa, Yota Kudo, Ryouei Kikuchi, Kazuhiko Fujiwara, Manabu Shibata, Satoshi Nomura, Hideaki Kakiuchi (IUPAC International Congress on Analytical Sciences2011, Kyoto)
138. Confocal Imaging of a Cellular Protein by Resonance Light Scattering of an Antibody-Tagged Gold Nanoparticle Kazuhiko Fujiwara, Kentaro Sato, Soh Yamamoto, Hideaki Itoh, Nobuaki Ogawa (IUPAC International Congress on Analytical Sciences2011, Kyoto)
139. 細胞内へ導入した金ナノ粒子の共焦点光散乱顕微鏡観察 ○藤原一彦 (平成 23 年度 化学系学協会東北大会 東北大学 依頼講演)
140. “Development of new bioassay for the antibacterial mechanism of metallic copper using Cu thin coating plates” The 8th EU-Japan Joint Symposium on Plasma Processing (JSPP2012), Nara, Japan. Yasuyuki Miyano, Kuniaki Honjo, Takashi Chiba, Osamu Kamiya, Masato Kiuchi. (Aural presentation, Proceedings/CD-ROM publication)
141. “Cutting Performance of New Micro Saw Wire Bonded with Diamond Grains Using Metal Solder” International Conference on Advanced Materials Development and Performance, AMDP2011, Tokushima, Japan. Osamu Kamiya, Yasuyuki Miyano, Mamoru Takahashi, Yuichi Oga, Zhan Wen Chen, Kenji Funaoka. (Aural presentation, Abstract/CD-ROM publication)
142. “銅薄膜材を使用した銅の抗菌機能に関する基礎的研究” 日本銅学会 (銅及び銅合金技術研究会) 第 51 回全国大会 宮野 泰征, 本城 国明, 神谷 修, 木内 正人
143. 膜厚制御型金属表面を適用した新規バイオアッセイによる銅の抗菌機構の解明 日本防菌防黴学会 第38回年次大会 宮野泰征, 本城国明, 古川壮一, 森永 康, 荻原博和, 神谷 修, 千葉 隆, 木内正人
144. “各種金属の抗菌性評価” 日本鉄鋼協会 第 162 回 秋季全国大会 宮野 泰征, 川上 洋司
145. “膜厚制御型抗菌性金属表面を適用した新規バイオアッセイの開発” 材料と環境 2011 春季全国大会 宮野 泰征, 本城 国明, 古川 壮一, 平井 健之, 神谷 修, 木内 正人
146. Hirokazu Okawa, Synthesis of LiFePO_4 cathode material for lithium ion battery using sonochemical oxidation method, The International Workshop on Advanced Sonochemistry November 4, 2011 (Nagoya)
147. Ryota Hosokawa, Tomohiro Yoshikawa, Hirokazu Okawa, Arsenic removal from acid mine drainage using jarosite synthesis by ultrasound irradiation, The International Workshop on Advanced Sonochemistry November 4, 2011 (Nagoya)

148. Tomohiro Yoshikawa, Ryota Hosokawa, Hirokazu Okawa, Removal of arsenic from acid aqueous solution, The International Workshop on Advanced Sonochemistry November 4, 2011 (Nagoya)
149. Kentaro Nishi, Dai Shindo, Hirokazu Okawa, Dust control using ultrasonic atomization, The International Workshop on Advanced Sonochemistry November 4, 2011 (Nagoya)
150. Hirokazu Okawa, Kentaro Nishi, Dai Shindo, Youhei Kawamura, Influence of air humidity on dust control using ultrasound atomization, USE2011 Nov. 8-10 2011 (Kyoto)
151. Ryota Hosokawa, Hirokazu Okawa, The removal of arsenic from acidic solution using jarosite and sonication, USE2011 Nov. 8-10 2011 (Kyoto)
152. 大川浩一、斉藤知直、細川亮太、川村洋平：資源・素材学会秋季大会 2011「超音波を用いたオイルサンドからのビチューメンの分離効果」
153. 斉藤知直、細川亮太、川村洋平、大川浩一：資源・素材学会秋季大会 2011「超音波を用いたオイルサンドからのビチューメン分離における照射条件の影響」
154. 細川亮太、斉藤知直、川村洋平、大川浩一：資源・素材学会秋季大会 2011「鉄沈殿物と超音波を利用したヒ素の除去」
155. 渡邊裕樹、上松和義、石垣雅、戸田健司、佐藤峰夫、大川浩一：2011年電気化学会秋季大会「超音波照射によるLiFePO₄の粒径制御と電気化学特性調査」
156. 宇佐美遼、上松和義、石垣雅、戸田健司、佐藤峰夫、大川浩一：2011年電気化学会秋季大会「LiFe_{0.5}Mn_{0.5}PO₄正極材料の充放電メカニズムの解明」
157. M. Takahashi, M. Sugawara, O. Kamiya and T. Ohyoshi (2011) : Synthesis of Nanocrystalline Diamond Films on Molybdenum Substrate by Flame Combustion Method, 6th International Conference on Advanced Materials Development and Performance 2011 (AMDP2011), (2011, July, Tokushima, Japan)
158. 高橋護、菅原将高、渡辺功輔、神谷修 (2011) : 高純度アセチレン燃焼炎によるWC基板表面へのナノ結晶ダイヤモンド皮膜合成, 日本機械学会東北支部第47期秋期講演会講演論文集, pp. 422-423, (2011年9月 山形大学)
159. Yutaka Tsujiuchi, Takuya Takahashi, Hiroshi Masumoto, Takashi Goto, "Electric Field Effect on First Organic Layer of Fatty Acid for Preparation of Composite Thin Film of Bacteriorhodopsin and Phospholipid Fabricated on An Amorphous Silicon Film", Sixth International Conference on Molecular Electronics and Bioelectronics, Sendai, March 16-18, 2011.
160. Yutaka Tsujiuchi, Yuki Hiramitsu, Yuta Ando, "A Conversion System of Ultra Violet Light to Visual Light Using 4-hydroxycoumarin and 7-hydroxy-4-methylcoumarin", Sixth International Conference on Molecular Electronics and Bioelectronics, Sendai, March 16-18, 2011.
161. Yutaka Tsujiuchi, Takaaki Ichikawa, Hiroshi Masumoto, Takashi Goto, "Current Analysis of Interfacial Ion Conductivity of Amino Acid Dispersed in Two Agarose Gels Joined on An Amorphous Silicon Film by Cottrell Equation", Sixth International Conference on Molecular Electronics and Bioelectronics, Sendai, March 16-18, 2011.
162. Yutaka Tsujiuchi, Yuta Ando, Hiroshi Masumoto, Takashi Goto, "An Two Dimensional Ammonia Sensing by

- Measurement of Mass and Fluorescence of Phospholipid and 7-hydroxy-4-methylcoumarin Using Hydrogenated Amorphous Silicon Film on QCM Sensor”, Sixth International Conference on Molecular Electronics and Bioelectronics, Sendai, March 16-18, 2011.
163. Takaaki Ichikawa, Takuya Takahashi, Yuki Hiramitsu, Yoshiyuki Nomoto, Hiroshi, Masumoto, Takashi Goto, Yutaka Tsujiuchi, “Light induced ion conductive change in gel films which contain amino acids joined on a hydrogenated amorphous silicon film”, The 49th Annual Meeting of the Biophysical Society of Japan, Sep.16-18, 2011.
 164. Yuta Ando, Hiroshi Masumoto, Takashi Goto, Yutaka Tsujiuchi, “Ammonia sensing by measurement of mass and fluorescence of phospholipid and 7-hydroxy-4-methylcoumarin on artificial unit”, The 49th Annual Meeting of the Biophysical Society of Japan, Sep.16-18, 2011.
 165. 辻内 裕, “紫外可視光変換材料の開発～その不思議な特性と応用の可能性～”, 情報機構セミナー「紫外可視光変換材料」, 2011年4月22日, 東京.
 166. 辻内 裕, “有機無機複合材料からの紫外可視光変換材料の探索と応用”, 技術情報協会セミナー「太陽電池 波長変換技術」, 2011年4月26日, 東京.
 167. Thomas A. Bier, Birgit Stolte, Hidenobu Tokushige and Makoto Kawakami: Early Shrinkage as Influenced by Water Movement in Mortars Containing Zeolite, Proc. of the 9th International Symposium on High Performance Concrete, Session B10 Paper 3, pp.1-9 CD-ROM (2011.8, Rotorua, New Zealand)
 168. 田口利規, 和嶋隆昌, 宗像健三: 硫黄処理による製紙スラッジからの重金属吸着剤の作成、日本素材物性学会平成23年度年会 (2011) (June 28, Akita)
 169. 和嶋隆昌: 砕石屑からの水質浄化材の開発, 平成23年度資源・素材学会秋季大会(2011) (Sep. 26-29, Sakai)
 170. 和嶋隆昌: 焼却製紙スラッジのリンイオン除去能, 資源・素材学会春季大会(2012) (March 26-28, Tokyo)
 171. T. Wajima, K. Munakata: Preparation of phosphate adsorbent from paper sludge, The 11th International Symposium on East Asian Resources Recycling Technology, EARTH 2011 (2011) (Nov. 1-5: Kaohsiung, Taiwan)
 172. R. Taguchi, T. Wajima, K. Munakata: Preparation of heavy metal adsorbent from paper sludge using sulfur treatment, The 11th International Symposium on East Asian Resources Recycling Technology, EARTH 2011 (2011) (Nov. 1-5: Kaohsiung, Taiwan)
 173. T. Wajima, K. Munakata, T. Uda: Adsorption behavior of lithium from seawater using manganese oxide adsorbent, 21th International Toki Conference, ITC-21 (2011) (Nov. 28 - Dec. 1, Toki, Japan)
 174. T. Wajima, John F. Rakovan: Removal of aqueous fluoride ions by calcined paper sludge, International Symposium on Surface Science, ISSS-6 (Dec. 11-15, Tokyo, Japan)
 175. 和嶋隆昌: 砕石業において発生する砕石ケーキを原料とした高機能材料の開発, 平成23年度秋田わか杉科学技術奨励賞受賞記念講演 (2012) (Jan. 18, 秋田)
 176. 和嶋隆昌: 134. (2012年) 鉄鋼スラグを用いた休廃止鉱山からの酸性鉱廃水抑制技術の開発, 鉄鋼環境基金助成研究研究討論会 (2012) (March 16, 東京)
 177. 小泉 幸央, 長井賢一郎, 蓮見恵司, 小代田宗一, 杉山 俊博 (2011)血栓溶解を促進するマルホルミンの構造活性相関

178. 佐伯俊彦, 杉山俊博, 小島 至 (2011) ラット肝臓幹様細胞の肥大化 第 24 回 日本動物細胞工学会 2011 年度大会(JAACT2011), 7 月, 東京
179. Saheki T, Sayama M, Ozaki T, Sugiyama T, Kojima I. (2011) Acquisition of multiple nuclei by sodium butyrate treatment of rat hepatic stem-like cells:第 34 回日本分子生物学会年会, 11 月, 横浜
180. Ma L, Koyota S, Yatabe N, Koizumi Y, Sugiyama T. (2011) GALNT14 by scFv antibody enhanced TRAIL-induced apoptosis through upregulated death-receptor O-glycosylation:第 34 回日本分子生物学会年会, 11 月, 横浜
181. 小泉幸央, 姜 琛, 新道 道人, 供田 洋, 杉山俊博 (2011) カバノアナタケ抽出液によるマクロファージ脂肪滴形成阻害作用:日本農芸化学会東北支部 第 146 回大会, 10 月, 山形
182. 遊佐和之, 山本 修, 高野裕史, 福田雅幸, 杉山俊博 (2011) 亜鉛溶出液の骨芽細胞誘導に関する検討:第 31 回 日本口腔インプラント学会東北・北海道支部総会・学術大会, 11 月, 秋田
183. 小泉幸央, 長井賢一郎, 蓮見恵司, 小代田宗一, 杉山俊博 (2011) フィブリン分解を促進する糸状菌由来マルホルミンの構造活性相関: 第 18 回秋田応用生命科学研究会, 5 月, 秋田
184. 遊佐和之, 山本 修, 高野裕史, 福田雅幸, 杉山俊博 (2011) 生体内微量元素である亜鉛は骨形成を促進する-亜鉛修飾型新規生体材料の骨接着性および骨芽細胞誘導に関する検討-:第 14 回北東北インプラント研究会交流会 5 月, 弘前
185. 遊佐和之, 山本 修, 福田雅幸, 小泉幸央, 小代田宗一, 杉山俊博 (2011) 亜鉛修飾型インプラントの骨接着性および骨芽細胞誘導に関する検討: 第 19 回秋田応用生命科学研究会, 11 月, 秋田
186. 小代田宗一, 馬 莉, 谷田部直樹, 小泉幸央, 杉山俊博 (2011) 細胞内発現 scFv 抗体によるポリペプチド GalNAc 転移酵素の細胞内局在の制御: 第 5 回東北糖鎖研究会, 12 月, 仙台
187. Tangwattananukul, L., Ishiyama, D., Matsubaya, O., Mizuta, T., Punya Charusiri, P. and Sera, K. (2011): Gold mineralization of Q, A and B prospect at the Chatree deposit, central Thailand, 資源地質学会第 61 回年会講演会講演要旨集, 0-10.
188. 小川泰正・梶原雅博・土屋範芳・石山大三・岩根健太・鹿園直建 (2011) :酸性温泉由来の有害元素, レアメタルの河川流下過程における地球化学的挙動と元素濃集に及ぼすダムの影響について, 資源地質学会第 61 回年会講演会講演要旨集, 0-22.
189. 石山大三・森一也・福山繭子・佐藤比奈子・水田敏夫・中野孝教 (2011) : 岩手県釜石地域六黒見金スカルン鉱床の鉱化作用の特徴, 資源地質学会第 61 回年会講演会講演要旨集, 0-26.
190. 藤岡信成・石山大三・水田敏夫・V. V. Maslennikov・浦辺徹郎 (2011) : ロシアウラル地域火山性塊状硫化物鉱床の生成環境の解明, 資源地質学会第 61 回年会講演会講演要旨集, 0-29.
191. Zhang, J., Ishiyama, D., Mizuta, T. and Allen, R. (2011): Geochemistry, stable isotope and fluid inclusion characteristics of Precambrian Boliden massive sulfide deposit, Shellefte district, Sweden, 資源地質学会第 61 回年会講演会講演要旨集, P-17.
192. 川原谷浩・石山大三・世良耕一郎・遠田幸生 (2011) : 秋田県八郎潟干拓地の高濃度リン含有湧水の地球化学的特徴, 資源地質学会第 61 回年会講演会講演要旨集, P-31.
193. 佐藤祐美・石山大三・水田敏夫・佐藤比奈子・伊藤雅和 (2011) : 山形県月布ペントナイト鉱床地域のペントナイト層の岩相と化学組成の特徴, 資源地質学会第 61 回年会講演会講演要旨集, P-32.

194. Zhang, H., Mitobe, K., Suzuki, M., Mitobe, Y., Habuchi T. and Yoshimura, N. (2011): Single Frequency Continuous Wave Terahertz Imaging of DNA Marker and Protein Marker on Membrane, International Conference on Advanced Electro materials (ICAE 2011), ICAE 2011 CD, (Jeju, Korea)
195. Mitobe, K., Suzuki, M. and Yoshimura, N. (2011): Analysis of the dendrite on printed wiring board by soft X-ray microscope and THz imaging, International Conference on Power and Energy Systems (ICPS- 2011) (Chennai, India)